

## 2025 年度第 2 四半期（中間期）決算について

2025 年 10 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2025 年度第 2 四半期（中間期）[2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日]の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、販売電力量の減少等により、前年同期比 2,046 億円減の 3 兆 1,502 億円となりました。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 314 億円増の 2,821 億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費 621 億円や、災害特別損失 9,041 億円を計上したことから、親会社株主に帰属する中間純損益は、7,123 億円の損失となりました。

(単位：億円)

	当第 2 四半期 (中間期) (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
売 上 高	31,502	33,549	△ 2,046	93.9
営 業 損 益	2,170	1,990	180	109.1
経 常 損 益	2,821	2,506	314	112.6
特 別 損 益	△ 9,662	△ 336	△ 9,326	—
親会社株主に帰属する 中 間 純 損 益	△ 7,123	1,895	△ 9,019	—

## 【セグメント別の経常損益】

2025 年度第 2 四半期（中間期）のセグメント別の経常損益は以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、子会社からの受取配当金の増加などにより、前年同期比 34 億円増の 1,423 億円の利益となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 197 億円増の 727 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が減少したことなどにより、前年同期比 125 億円増の 939 億円の利益となりました。
- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 282 億円増の 1,078 億円の利益となりました。
- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、修繕費が減少したことなどにより、前年同期比 29 億円増の 433 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第2四半期 (中間期) (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
経常損益	2,821	2,506	314	112.6
東京電力ホールディングス	1,423	1,388	34	102.5
東京電力燃料&パワー	727	529	197	137.2
東京電力パワーグリッド	939	813	125	115.5
東京電力エナジーパートナー	1,078	796	282	135.5
東京電力リニューアブルパワー	433	403	29	107.4

【2025年度業績予想】

2025年度の業績予想については、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働時期を見通せないことから、現時点で未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以上

添付資料

- ・ [決算概要](#)
- ・ 「決算短信等」については [こちら](#) をご覧ください。
- ・ 「特別損益の計上に関するお知らせ」については [こちら](#) をご覧ください。